にじたま！Vol.28
2019年 春号
スクランブルエッグ
多様な性のあり方と、幸せと人生と笑いを考える、にじいろたまご通信！

アピオあおもり秋まつりに参加しました

11/11、青森県男女共同参画センター・子ども家庭支援センターであるアピオあおもりにて、登録団体等が出展するアピオあおもり秋まつりに参加しました。

今年は初めて午後のみの出展とし、「多様な性にYES！IDAHOメッセージ展」と、ミニ交流会を開催。室内を展示と交流のスペースに分けて、「ちょっと展示を見てみたいけれど、スタッフがいると入りづらい…」と感じる方にとっても、「お話ししてみたいけれど、あまり人に見られたくないな…」という方にとっても、なるべく安心して過ごせる空間を目指しました。

昨年より来場くださった方も多く、新たな出会いもあり、実りあるイベントになりました。

（文＝創）

五所川原市男女共同参画講演会でお話ししました

会場の会議室はほどよい広さで、ゆったり座れるくらいの人数でしたので、パーソナルスペースを侵されることなくスタッフもみなさんも安心して参加できたかなと思います。

第一部の講座部分では、みなさん真剣に話を聞いてくださって、時おり深くうなずいたり、声を出して驚きを表してくださったりしていた姿が印象的でした。

第二部では、第一部を聞いての感想や質問を書いていただいたものをベースに、それに答えていく形での対話となりました。素直な疑問や、あまり受けたことのないご質問も頂き、私たちも多くの気付きを得ました。もっとじっくりお話ししたかったなぁというのが正直なところです。

時間をかけてこの企画を実現してくださった、五所川原市の熱意ある担当者の方々にも、改めてお礼申し上げます。

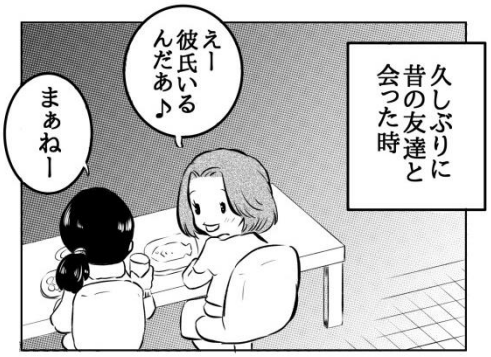
（文＝ヒロ）

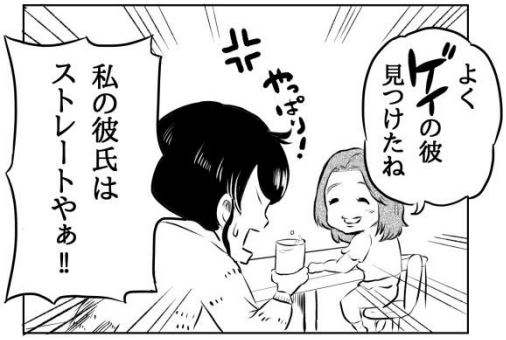
その他にも各所から、研修・勉強会や講義、イベントにもお声がけをいただきました。
セクマイはおかしなものではない、身近にいるんだということを感じていただけたら幸いです。

にじいろピープル

MTF とは、Male to Female の略。
生まれた時に割り当てられた性別は男性だけれど、心（性自認）は女性である人のことで、LGBT の T（トランスジェンダー）に該当します。
そんなトランスジェンダーに関するよくある誤解が、恋愛や性的指向に関すること。今回の MTF さんの例では、相手の男性は彼女を女性として好きになった“異性愛者（ストレート）”なのに、お友達は「彼女の元の性別は男性だから、パートナーは男性同性愛者（ゲイ）だ」と思い込んでしまったようです。
カップルのあり方は様々で、生まれたときの性別や見た目の性別で決まっているとは限りません。人を好きになるという感情は、目には見えない「心」が生み出すものなのですから。

たまにある誤解の話





10/13 にじたま会 BQB を開催！

今回、初めて交流会に参加したのですが、とても雰囲気が良く、和気あいあいとしていて参加して良かったです。
オフ会も楽しいのですが、話さなきゃとどこか気負いしている部分もあったので、まったりとした雰囲気の中で行われた交流会は、自分の性格上とても合っていました。
私自身、交流会をやってみたいなと思っていたので、参加することでとても勉強にもなりました。そして、ゆくゆくは今自分が住んでいる場所で交流会をしてみたいなと思いました。

（文＝海香）

SMASH HIT!

『カランコエの花』
脚本・監督・編集／中川駿
配給／株式会社 SDP　2006 年／日本／39 分

とある高校のあるクラスでだけ、ある日唐突に『LGBT について』の授業が行われた。「もしかしてうちのクラスに LGBT の人がいるんじゃないか？」
誰かを好きになる純粋で切ない気持ち…それは誰にでも共通する思い。あなたが当事者だったら、そして大切に思っている友人が当事者だと知った時、その人を守りたいと思った時、あなたならどうしますか？ 39 分という短い時間ですが、様々な視点から大事なことを考えさせられる映画です。

（文＝しーも）

スクランブルエッグ 10 年の歩み

2008 年 11 月 スクランブルエッグ発足！（HP 始動）

オフ会で知り合った子が、セクシュアリティのことでクラスメイトから嫌がらせを受けていることを話してくれたことがきっかけでした。地元にもセクマイの人たちがいて、ずっと前から一緒に生きていることを、もっと知ってもらいたい。力になってくれる人を増やしたい。今すぐは無理でも、10 年後を変えよう･･･そう思ったのです。

使命感ではなく、まずそれぞれが自分のために活動できればと、「無理せず、楽しく、できることを」をモットーに活動を開始。サークルと名乗りつつ、メンバー1 名でのスタートでした（笑）

2009 年 7 月 機関紙『にじたま』発行開始

他のセクマイ関連団体の手伝いなどしながらブログ更新をしていたところ、何人かメンバーが増え、自主企画の活動を始めました。

機関紙『にじたま』は、クローゼット（周囲にセクシュアリティを明かしていない）であっても思いを言葉にして発信できる媒体として、現在も発行を続けています。

2009 年 9 月 「多様な性に YES！IDAHO メッセージ展」を始める

毎年 5/17 の IDAHO（LGBT 嫌悪に反対する国際デー。日本では「多様な性に YES の日」）にちなんで、全国各地から寄せられたメッセージを展示紹介するこのイベントは、北東北では初開催でした。

初回は弘前大学公認のセクマイサークル「SALAD HOUSE」（当時）さんの協力を得て、弘前市内で商店街を歩行者天国にして開催される「カルチュアロード」に出展。当時は今ほど“LGBT”という言葉も知られておらず、事前説明会への参加や申込みも、受け入れてもらえるだろうかと不安でいっぱいだったことを覚えています。

当日は、残念ながら差別的な反応がなかったわけではありませんでしたが、ベビーカーを引きながら立ち寄ってくださった方や、「同性愛も、愛だべなぁ」とコメントくださった方など、肯定的な気持ちで向き合ってくださる方もたくさんいました。

この時の経験は、スクランブルエッグにとって大きな糧になりました。翌年は青森・弘前・八戸と三箇所でメッセージ展を開催。現在は青森にて、毎年 7 月「青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル」の会場前にて展示したり、県外へも出張展示や貸出を行ったりしています。

2009 年 11 月 弘前のコミュニティ FM「FM アップルウェーブ」に出演

2010 年 7 月 八戸で市民活動団体パネル展に参加開始

2010 年 8 月 サークルに関する取材記事が新聞初掲載

2010 年 9 月 NHK 青森放送局「あっぷるワイド」にメンバーが生出演

2010 年 11 月 「アピオあおもり秋まつり」に参加を始める

青森県の男女共同参画・子育て支援センターであるアピオあおもりが毎年開催する「アピオあおもり秋まつり」に、登録団体として参加を開始しました。講座やワークショップ、交流会など、毎年出展を続けています。

初参加のこの時は「性の多様性を考える～揺らぎからのアプローチ～」と題して、X ジェンダーやクエスチョニングのメンバー3 名に体験や思いをお話ししてもらいました。この時からずっと、スクランブルエッグが企画する講座では外部講師を依頼するのではなく、地域で共に生きる身近な存在としてメンバーが講師や話し手を務めています。

振り返りコメント付き！　ダイジェスト版

2011年12月　講師、スピーカーの派遣を始める

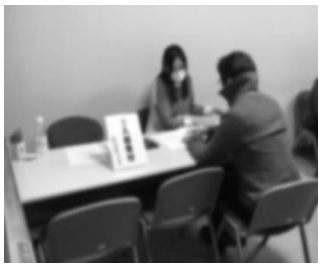
初めて他団体からのご依頼でメンバーが講演をさせていただきました。その時は緊張しすぎて、資料のどこを読んでいるのかすらわからなくなりました（汗）

スクランブルエッグの当事者メンバーはほとんどがクローゼットで、地元でお話しすることはとても難しく怖いことでもありますが、そんな自分たちの言葉だからこそ伝わるものもあるかな･･･と思っています。

2015年9月　行政機関主催のセミナーで初めて講師を務める

行政機関が主催するセミナーにて、初めてお話しさせていただきました。この頃から、様々な分野の団体等から講師派遣のご依頼をいただいたり、協力や連携したりすることが増えてきました。

2016年11月　ヒューマンライブラリーの開催や協力を開始



ヒューマンライブラリーとは、主に社会的マイノリティの人が生きている「本」となり、来場した「読者」に自身の体験や思いをお話しするイベント。デンマーク発祥で、相互理解や多様性にひらかれた社会を目指す取り組みです。

この年のアピオあおもり秋まつりと、翌年１月のカダールフェスタ（青森市）で、メンバーが「本」となってヒューマンライブラリーを開催。翌年には「Human Library@弘前大学」に協力しました。地域の中で、誰もが共に生きていることを体感するための機会づくりを応援しています。

2017年5月　オリジナル動画「今、ここで。～明日につなぐ物語」を制作・公開

5/17のIDAHOに向けて、宮城県で活動している「てんでん宮城」さんと共同でオリジナル動画を制作・公開しました。

“LGBT”という言葉がニュースでも流れてくるようになった今日この頃。でもテレビに映し出される世界は自分の現実とは違いすぎて、どこか遠くの出来事に見えてしまう･･･。そんなことを感じていた東北で暮らす数名の当事者が、自分たちのリアルを映し出そうと制作した作品です。「自分らしく生きるって、どういうことだろう」

その問いに、あなたなら何と答えますか？

YouTubeにて公開中！

2018年8月　当事者向け交流会「にじたま会」を開始

実は、外に向けた活動に抵抗がある当事者もたくさんいるので、サークル主催の交流会は単発でしか企画していませんでした。しかし最近では、自分のセクシュアリティに迷ったり悩んだりする中で、「他の当事者と話してみたい」という人も増えていると感じます。親御さんや先生からのお問い合わせも、以前に比べると増えました。

そこで、セクマイ当事者を中心とした小規模な交流の場をつくろうと、「にじたま会」を開始しました。初めて交流の場に参加する人にとっても来やすい場にしたいと考え、グランドルールを設けて、内容や場所を変えながら開催しています。

小さな活動ですが、他にも色々なことをしてきました。LGBTという言葉が知られるようになり、青森でも少しずつ変化を感じていますが、設立時に思い描いた“10年後”にはまだまだなのかもしれません。無理せず、楽しく、できることを一人ひとりが考えながら、歩んでいけたらと思います。　（文＝創）

☆☆☆　メルマガ登録受付中！！　☆☆☆

スクランブルエッグでは、メールマガジンを時々発行しています！登録は無料です(^-^)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしながら、できることをしてみよう！」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2～3 回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただく予定です。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡くださいね！